

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成21年9月25日

施設名	高知県立坂本龍馬記念館	所管課名	文化生活部 文化・国際課
-----	-------------	------	-----------------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人高知県文化財団	指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日 平成21年4月1日～平成26年3月31日
施設所在地	高知市浦戸城山		
事業内容	坂本龍馬を顕彰する施設として、坂本龍馬に関する資料の収集、保管、及び展示を行う。		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p><建物>延べ床面積:1,841.62㎡ SRC造 一部鉄骨地上2階地下2階</p> <p><主要施設>常設展示室、企画展示室、図書・ビデオコーナー、ミュージアムショップ、談話室など</p> <p><開館時間>午前9時～午後5時</p> <p><休館日>12月27日～1月1日</p> <p><主な料金>入館料 大人(18才以上)400円 ※高校生以下、高知県長寿手帳所持者(65歳以上)は無料 企画展開催時は別料金</p>		
職員体制	特別職非常勤: 1人 常勤職員: 4人 契約職員: 7人 合計: 12人		

2 収支の状況

単位:千円

		平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	平成21年度(予算)
収入	県支出金	53,709	52,710	42,094
	事業収入	48,408	52,994	52,033
	その他	232	53	5,000
	収入計	102,349	105,757	99,127
支出	事業費	18,859	17,138	23,630
	管理運営費	79,302	78,400	73,942
	(うち人件費)	(41,904)	(45,709)	(44,828)
	その他	3,684	8,829	1,555
	支出計	101,845	104,367	99,127

3 利用状況

	平成19年度実績	平成20年度実績	前年度比
①年間利用者数(単位:人)	123,174人	134,596人	11,422人
	<p><利用実績>「花・人・土佐であい博」関連イベントの「出会いの達人・龍馬」や、新たに来館者層の発掘を目指した「幕末土佐の刀剣と鎧」、龍馬の子孫弘松家から受託した龍馬資料「海援隊約規」を手がかりに、龍馬の子孫たちの検証と「海援隊約規」そのものに焦点を当てた「海援隊約規物語」などの企画展を積極的に展開、入館者の増加に努めた。また、企画展を多くの人々に知っていただくため、広報広告にも力を入れた。特に交流の深い、京阪神・中四国地域の新聞や「るるぶ四国」等への広告掲載で、全国からの入館者増にも取り組んだ。その結果、入館者数は、平成18年度には及ばなかったものの、一年で13万人台を回復した。</p>		

②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者に対してアンケート協力を求め、それらを毎日チェックし、寄せられた意見に対し「すばやく対応」することを心がけ、参考意見は企画展や展示方法の改善に積極的に取り入れている。 <p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者の視点に立った館内表示や広報などに努めている。 ・有識者による運営協議会を年2回開催し、その意見を館の運営に反映させている。
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本年4月からインターネットを活用した「龍馬検定」に取り組んでいる。初級、中級、上級を設定。初級は無料。初級については年間で3万人を超える人が受験。 ・近江屋対談(その時々テーマについて関係者と館の学芸員らが、龍馬・慎太郎暗殺遭難現場のセットで閉館後後の時間に語るコーナー)を実施。11回の開催で357人を集めた。 ・その他、史跡巡りバスツアーや徒歩による歴史探訪やリジナル紙芝居、夏休み子ども教室、ホームページの内容充実などによる入館者増への取り組み。

4 平成20年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①管理運営に関する評価	<p>施設設備の管理、危機管理体制、法令遵守等適正な管理がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく考慮された運営がうかがわれる。職員の専門性の高さ、熱意が感じられる。 ・非常に効率的。事業の収支比率は他の県立文化施設の中で最高である。 ・地下展示室に資料を過密に展示しているため、管理上やや難がある。
②事業の実施(企画及び運営)に関する評価	<p>展示・企画事業、調査研究、教育普及の各事業において、適正に事業が実施された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍馬人気を活用した館の活動は、龍馬検定や学校を巡回しての紙芝居になど幅広く、評価できる。 ・龍馬の魅力に誘われ、館を訪れるリピーターは多い。高速道路の1000円効果へも期待が持てる。 ・館内に関連書籍などがわかるような表示があればいいと思う。 ・ギャラリートーク、展示の工夫も以前より改善された。 ・手紙を本にまとめたり、紙芝居を実演するなど、よく考えられた活動をしている。 ・これまで以上に桂浜とのリンクを進めていけば、さらに良くなる。
③総体的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・龍馬検定の取り組みを評価する。 ・追風を活かし活動している点を評価する。 ・入館者も多く、館の意欲もとても感じられる。 ・収蔵庫の完成によって、展示環境が整ってきている。
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝一番で行っても10名以上の観光客以外の人 coming いるなど館に活気があり、職員の努力が認められる。改めて館の魅力を感じる。 ・集客力の高さを評価できるし、来年の「龍馬伝」に合わせた取り組みへの期待感も高まる。 ・龍馬ファンの心をつかんだ運営がなされており、新しい企画にもチャレンジしている。紙芝居の巡回にも期待できる。 ・県外客に自慢して見せられる施設。 ・全体的に館内がみやすく大変良いと思うが、地下展示室の展示方法(手紙・資料類)に今一つの工夫が欲しい。 ・龍馬に関連した作家や作品の展示が増やせれば、さらに良くなる。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※評価項目ごとの評価内容

評価項目	評価	特記事項
1 管理運営の基本方針(総括)	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆龍馬検定の取り組みを評価する。 ◆追風を活用し活動している点を評価する。 ◆入館者も多く、館の意欲も感じられる。 ◆収蔵庫の完成によって展示環境が整ってきている。
① 平成20年度の坂本龍馬記念館の管理運営(事業)にあたって、どのような方針を立て、どう結果をだしたか。 ② 平成19年度事業評価の結果を踏まえ、どのように取組んできたか。		
2 事業を通じて県民の創造活動の支援、文化振興への寄与ができたか	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆龍馬人気を活用した館の活動は、龍馬検定や学校を巡回しての紙芝居など幅広く、評価できる。 ◆龍馬の魅力に誘われ、館を訪れるリピーターは多い。高速道の1000円効果へも期待が持てる。 ◆館内に関連書籍などがわかるような表示があればいいと思う。
(1) 展示事業の実施		
① 通常展及び企画展の実施回数、内容、集客目標と観覧者数等の状況	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリートーク、展示の工夫も以前より改善された。 ・県外からの観光客は多いが、県内容の集客に課題がある。 ・精力的に企画展などを開催している。
② 理解促進の取組の状況		
③ 展示会事業についての特記事項		
(2) 教育普及事業その他の事業		
① 事業の内容、件数、参加人数の状況	A	<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居を作って学校で実演しているほか、龍馬検定も3万人を超えているなど、職員の熱心さがわかる。 ・目標も素晴らしい、これからは楽しみ。
② 教育普及事業その他の事業についての特記事項		
(3) 事業を通じた創造活動・文化振興の支援		
① 子どもが坂本龍馬や歴史に親しみ感性を育む取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙を本にまめたり、紙芝居を実演するなどの取り組みがいい。 ・よく考えられた活動である。
② 高齢者や障がい者が利用しやすい取組		
③ 地域の文化活動との連携・支援		
(4) 観光振興の観点		
(館の運営を通じた観光の振興の取組、その効果など)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで以上に桂浜とのリンクを進めていけば、さらに良くなると思われる。
(5) 県民の視点にたった運営		
① 坂本龍馬記念館の活動や歴史についての情報提供	A	<ul style="list-style-type: none"> ・県民は、坂本龍馬の魅力は知っているが、身近すぎて深く知ろうとしないので、そこに入っていく工夫ができれば、さらに良くなる。
② 利用者、県民へのレファレンスの状況		
③ 県民参加の活動		
④ 県内の文化施設との連携		
3 資料の適正な管理と活用ができたか	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料の適正な管理と活用については、まだまだできることがあると期待する。
(1) 資料の収集及び保存管理		
① 資料収集の状況	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地下展示室の展示方法など、まだまだ工夫できることがあると思われる。
② 資料の修復		
③ 保存環境の維持		
(2) 資料の効果的な活用		
① 所蔵資料の活用の状況	B	
② 調査研究と成果の公表		
4 効率的な運営とサービスの向上が図れたか	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆よく考慮された運営がうかがわれる。職員の専門性の高さ、熱意が感じられる。 ◆非常に効率的な運営に取り組んでいる。
(1) 経営努力		
① 収入増加の取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業収支比率は、他の県立文化施設の中で最高である。
② 経費削減の取組		
(2) サービス向上への取組		
① 自己点検・評価の状況	A	
② 事故、クレームへの対応		
③ 職員の専門性の向上		
④ その他のサービス改善事項		
(3) 社会的責務		
① 県内の文化施設を牽引する取組	A	
② 法令・規程等の遵守		
5 施設及び設備の管理は適正に行えたか	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆地下展示室に資料を過密に展示しているため、管理上やや難があると思われる。
(1) 建物や設備の管理状況		
① 点検・修繕の実績	B	
② 第三者への業務委託の状況		
(2) 危機管理		
(風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策、マニュアル作成や職員研修など)	B	
総合評価	[評価委員の意見]	
A	<ul style="list-style-type: none"> ◆朝一番で行っても10名以上の観光客以外の地元の人が来ている日もあったことなど館に活気があり、職員の努力が認められる。改めて館の魅力を感じる。 ◆集客力の高さを評価できるし、来年の「龍馬伝」に合わせた取り組みへの期待感も高まる。 ◆龍馬ファンの心をつかんだ運営がなされていると思うし、新しい企画にもチャレンジしている。紙芝居の巡回にも期待できる。 ◆県外客に自慢して見せられる施設。 ◆全体的に館内がみやすくなっているので大変良いと思うが、地下展示室の展示方法(手紙・資料類)に今一つの工夫が欲しい。 ◆龍馬に関連した作家や作品の展示が増やせれば、さらに良くなる。 	

※評価の段階の目安

- 「A」 計画や目標を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた
- 「B」 概ね計画や目標どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた
- 「C」 計画や目標に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえず、大いに改善を要する